

NATURAL SOUND
STEREO CONTROL AMPLIFIER

取扱説明書

C-70

ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、ヤマハ・ステレオコントロールアンプC-70をお買い求めいただきまして
 まことにありがとうございました。
 C-70の優れた性能を充分に発揮させるとともに、長年支障なくご使用いただくために、
 この取扱説明書をぜひお読みくださいますようお願いいたします。

■特 長

●リアルタイム12dB/octサーボMC, MM独立イコライザーアンプ

イコライザーアンプはMCとMMで独立。ローノイズトランジスター、ローノイズFETをコンプリメンタリーで使用し、高SN比、低歪率を実現しています。

また、2系統のRIAA素子を用いた新NF-CR形帰還と、リアルタイム-12dB/oct サブソニックフィルター内蔵の新方式サーボ回路により、10Hz~100kHz までの RIAA 偏差をクリアー。まさに異次元のイコライザーアンプです。

●演算方式ボリュームコントロール

反転アンプの入出力間にボリュームを入れ、2番端子の位置によりアンプのゲインを変えろという、演算方式ボリュームコントロールを採用。従来の方式に比べ、小音量時におけるSN比にすぐれ、ボリューム自身の容量等による高域周波数特性の悪化もほとんどありません。

●ニューリニアトランスファー回路

歪みのない電流が供給できるニューリニアトランスファー回路を全アンプに採用。従来の定バイアス方式では避けられなかった、素子のgmカーブに起因する電流歪の影響がなくなり、よりピュアなAクラスを実現しています。

●ソフトタッチ・ロジックコントロールスイッチ

入力切り換えスイッチ、TONEスイッチはプランジャ駆動、DISC DIRECT 及び AUDIO MUTE スwitchには金クラッドリレーを使用。むだな信号線の引き廻しのない音質重視設計で、操作は軽くふれるだけのソフトタッチオペレーションです。

また、各スイッチはメモリー機構をもち、電源をOFFにしても使用状態が保持されます。

●ピュアカレントダム (ピュアカレントサーボIII)

カットオフ周波数を数Hzに設定して、各アンプを交流的に電源から遮断するというピュアカレントダムは、電源電流の変化やアースの電流変化を徹底的に抑えます。

●全アンプがDCまたはDCサーボアンプ構成

MCイコライザーアンプ、MMイコライザーアンプ、ゲイン0dBのバッファアンプ、ボリュームアンプ、反転アンプ、すべてをDCまたはDCサーボアンプで構成。さらに、出力のカップリングコンデンサーまで取り除き、入口から出口までのoverall DCを徹底させています。

●パラメトリックトーンコントロール

ローノイズICを使用したヤマハ独自のパラメトリックトーンコントロールを採用。中心周波数、帯域幅、レベルをそれぞれ独立かつ連続的にコントロールすることができ、従来のトーンコントロールに比べより幅広い音色、音場の補正が可能です。

●正相、逆相の出力が取れる2系統PRE OUT端子

同位相端子と位相反転端子の2つの PRE OUT 端子を装備。ステレオパワーアンプ2台をBTLで使用したり、Lch または Rch を逆相で使用し、電源容量の拡大を図ったり、いろいろな使い方が可能です。

●DIRECT PHONO端子など4系統PHONO端子

入力端子からそれぞれのイコライザーアンプに直結したMC, MM 専用 DIRECT PHONO 端子と、MC, MM 両方使用できる PHONO 端子を2系統、計4系統の PHONO 端子を装備。さらに、これらの切り換えはすべてフロントパネルで操作できます。

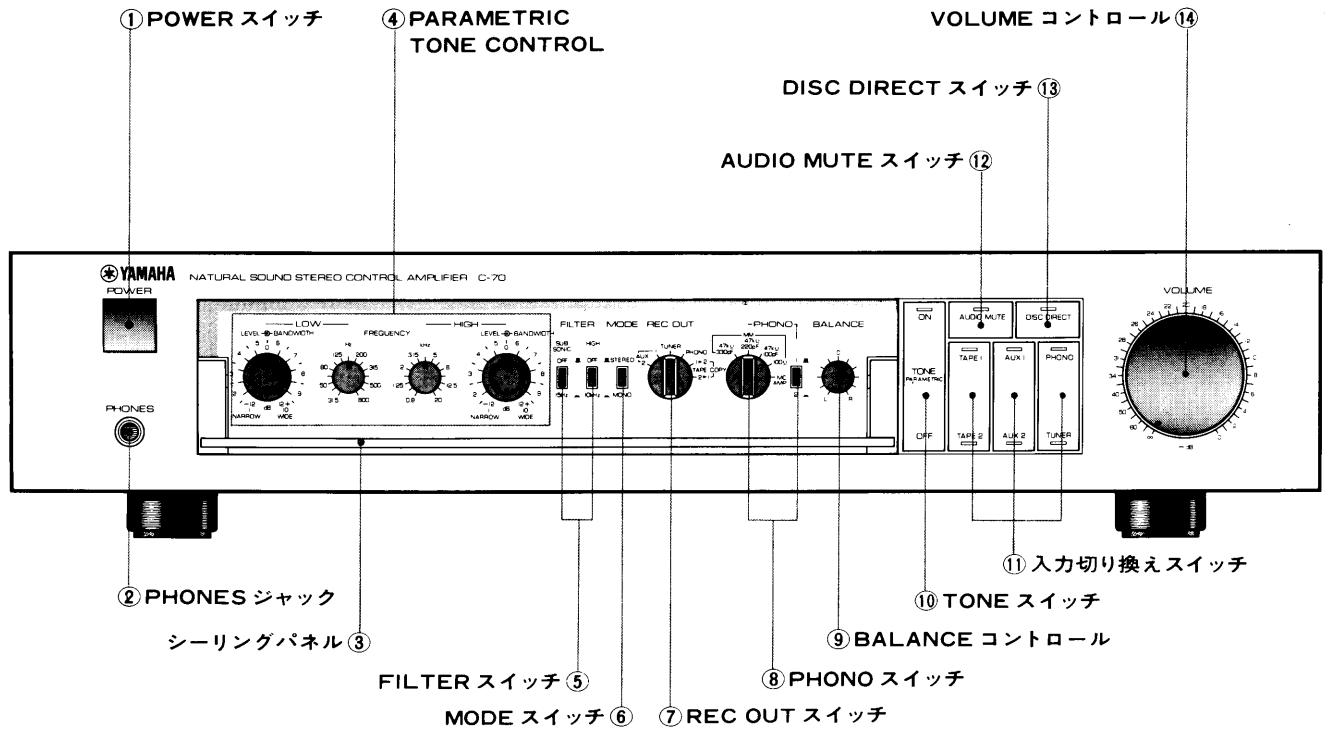
■目 次

各部の名称	2
接続図	3
ご使用になる前に次のことにご注意ください	4
接続のしかたと注意	5
各部の名称と機能	7
主な付属機能	
■PARAMETRIC TONE CONTROL	10
■カートリッジの負荷容量	11

特性表	12
ブロックダイアグラム	13
参考仕様	14
故障と思われるときには	15
サービスのご依頼について	16

各部の名称

■フロントパネルの名称(7ページ参照)



■リヤパネルの名称

